

会議録

- 1 附属機関の名称
犬山市文化財保護審議会
- 2 開催日時
令和6年8月19日（月曜日）14時00分～15時30分
- 3 開催場所
犬山市役所4階401会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
赤塚次郎、小嶋毅、林進、四辻秀紀
 - (2) 事務局
滝教育長、中村教育部長、（以下歴史まちづくり課）加藤課長、小川課長補佐、
渡邊課長補佐、市野統括主査、鈴木主査補、河寄主査補、中野主事、大前主事
- 5 会長・副会長専任
会長：赤塚次郎委員 副会長：小嶋毅委員
- 6 議題
 - 1 報告事項
 - (1) 犬山市文化財保存活用地域計画関連事業について
 - (2) 犬山市歴史的風致維持向上計画関連事業について
 - (3) 犬山祭の保存修理等及び地域文化財総合活用推進事業について
 - (4) 歴史的建造物について
 - (5) 犬山城について
 - (6) 史跡東之宮古墳保存活用事業について
 - (7) 天然記念物ヒトツバタゴ自生地について
 - (8) 市史編さん事業について
 - (9) 史跡名勝天然記念物の現状変更について
 - (10) 寄贈資料・寄託資料について
 - (11) その他報告事項
- 7 傍聴人の数
0 人

8 内容

報告事項

(1) 犬山市文化財保存活用地域計画関連事業について
意見なし

(2) 犬山市歴史的風致維持向上計画関連事業について
意見無し

(3) 犬山祭の保存修理等及び地域文化財総合活用推進事業について
意見無し

(4) 歴史的建造物について

委 員： 感震ブレーカーについて、前原地区の楼門（天道宮神明社）の関係者に話はしたのか。

事務局： 感震ブレーカー設置について、案内を氏子総代に送らせていただいた。ただし、補助金については対象が住宅であるため、楼門は対象外である。

委 員： 将来的に対象とはならないか。

事務局： 今後、歴史まちづくり課で補助金を出せないか検討を進める。

委 員： 小島家住宅の調度品は市の文化財として調査しているのか。また修理は所有者が行っているもので、市は関わっていないのか。

事務局： 市の文化財として指定されていないため、市の文化財としての調査は行っておらず、修理も市の依頼によるものではない。当該物件の工事は民間によるものであるため、調度品への配慮を依頼している。

委 員： 文化財的な価値の有無は確認しておいたほうが良い。

(5) 犬山城について

委 員： 犬山城の歴史について様々な説が出されているが、どのような意見が存在するのか説明できるようにまとめることは出来ないか。麓先生の説、金山越とその否定など、意見が錯綜して市民は混乱している。

事務局： どのような説があるかは整理できればと思うが、犬山市は市が調査を依頼して、麓先生が発表した成果を主軸としている。金山越は可児市の立場からの研究成果と理解しており、一つ一つこちらが調べて否定するということは実施していない。

委 員： 犬山城の登閣者がかなり並んでおり、内部にも多数の人がいるため、急な階段による事故が発生する可能性があるほか、構造体にかかなりの摩耗があるのではないかと。長い目で見た際にどのような保存形態にしていくのか考えたほうが良い。

事務局： 日々の日常管理の観点と、長期的な保存の観点、犬山城公開するにあた

っての経営の観点から上限の設定など現在検討を進めている。

委員： 文化財保護審議会の見解としては、入場制限等を含め国宝を守るという観点で今後検討を進めてほしい。

(6) 史跡東之宮古墳保存活用事業について

意見無し

(7) 天然記念物ヒトツバタゴ自生地について

意見無し

(8) 市史編さん事業について

委員： 新聞や広報など以外にも市民が作成した研究成果や地域の歴史を発行したものは取り扱われるのか。

事務局： 地域のコミュニティ団体や町内会、文化財関係の保存団体などに聞き取り調査を行い、掲載できそうな資料は掲載予定となっている。

委員： 現在の掲載案では一般市民の持っている資料が含まれていないように見えるが、それを補うためにもデジタル化を行い、市民各自がデータを追加できるようにし、何年かに1度市民フォーラムなどで補うことをしていかなければならないのではないかと。

事務局： 市史は膨大な資料のため掲載資料はピックアップしなければならないが、集めた資料を残していくことが必要であるということは委員会でも多数意見を受けており、いかに集約してアーカイブ化していくかについては今後の課題となっている。

(9) 史跡名勝天然記念物の現状変更について

意見無し

(10) 寄贈資料・寄託資料について

意見無し

(11) その他報告事項

意見無し

その他全体意見

○歴史まちづくり課には大変多くの事業があるが、それらの資料を集積する場所が犬山市にはないため、場所や人材の確保を行わなければならない。

○犬山の歴史を1冊で紹介できるような書籍を作成するとよいのではないかと。

○犬山市文化財保護審議会において、過去どのような問題が存在したのか、どのような議論が行われたのかが分かるように本委員会のデジタル化も進めていった方が

良い。

○犬山市には犬山地区だけではなく、楽田や城東など様々な地区があり、様々な文化財が存在している。文化財保護審議会ではそれらの文化財の価値や評価を審議し、積極的に発信することを目指していくべきである。

令和 年 月 日

上記に相違ないことを確認する。

(署名)

(署名)
